※（写真）
建設中のごみ処理施設の様子

施設の概要

所在地
大月市初狩町中初狩
字近ケ坂3211
敷地面積 60,274㎡
工事費 57億6450万円
施工業者 日立金属(株)

ごみ処理施設

処理能力 104ｔ(52t×2炉)
処理方式 全連続燃焼方式
(ストーカ方式)
(24時間稼働)

灰溶融施設

処理能力 16t/ 24h
処理方式 燃料溶融方式

リサイクルプラザ

粗大ごみ処理設備 7t/5h
不燃ごみ処理設備 8t/5h
再資源化設備 16t/5h

※t/h は
時間当たりの処理能力

循環型社会の構築を目指して・・・

今まではごみとして　これからは資源として！

ごみの出し方が変わります

新しいごみ処理施設に併設される「リサイクルプラザ」の稼動に合わせて、今までのごみの出し方が一部変わることになります。

このリサイクルプラザは、資源として利用できるごみ類の中間処理（選別・圧縮など）を行い、資源回収業者に引き渡し再資源化する施設です。

今まで可燃・不燃ごみとして収集していた形態に新たに資源ごみ収集を加えて、可燃・不燃・資源ごみの収集日を設けて行くことになります。

収集日数やステーション、分別排出方法、回収などについてより良い方法を見出して行くために、現在、宝地区の皆さんのご協力を得て、新たなごみ収集方式などを試行しています。

市民の皆様への理解を得る中で、平成十五年より市内全地区での実施を予定しています。

※資源ごみ収集モデル地区での搬出の様子（宝地内）

※資源ごみ収集は、今までの指定袋収集をおこなわず、缶類、ガラスビン、ペットボトル、食品トレイ、古紙類の5分類（11品目）を専用のボックスで収集を行っています。